

9/23

交通事故のない安全なまちへ

秋の交通安全運動テント村

9月21日(水)から30日(金)までの10日間、「広げよう 事故ゼロしまねの 思いやり」を運動のスローガンとして、秋の全国交通安全運動が実施されました。

期間中は9月21日、26日に通学路を主として交通安全対策会議委員の皆さんによる街頭指導、また23日には、浦ノ谷地区埋立地道路において交通安全対策会議委員・島前交通安全協会・みた保育園・シオン保育園などの皆さんによる交通安全テント村を実施し、ドライバーをはじめ住民の皆様に交通安全と交通ルールの遵守を呼びかけました。



安全運転にご協力ください!

9/25

2年に1度の伝統行事

日吉神社例大祭

9月25日(日)、日吉神社にて日吉神社例大祭が行われ、「庭の舞」、「神の相撲」、「十方拝礼」が奉納されました。

「庭の舞」は、今から約800年前に近江国甲賀郡真野庄の領主であった真野宗源が戦乱を避けて、隠岐に逃れた際に伝わったものといわれており、平成4年には、「美田八幡宮の十方拝礼」とともに「隠岐の田楽と庭の舞」として、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

当日は快晴で地元の方や観光客などたくさんのお客様が西ノ島の伝統行事に魅入っていました。



▲ 庭の舞

10/4

島前の森林復興に尽力

隠岐島前森林復興公社20周年記念式典

10月4日(火)、隠岐島前森林復興公社の創立20周年を祝う記念式典が開催されました。

隠岐島前森林復興公社は、当時、松くい虫により壊滅的な被害を受けた島前3町村の森林の回復を目的として平成8年に設立されました。これまで約470haの植林を行ってきたおり、島前の森林復興に一定の成果をあげているところです。

当日は、式典に続いて樹木医である佐藤仁志先生の講演会が行われました。講演会では、「森は海の恋人・地域の宝」と題して、森林の成り立ちや海を育む機能をはじめとした様々な役割について貴重なお話をお聞かせいただきました。

また、会場を島根鼻公園に移して行われた記念植樹は、森林復興公社関係者と西ノ島中学校の生徒のみなさんによって、トベラとヤブツバキが植えられました。

隠岐島前森林復興公社は今後、さらなる植林活動をを行うとともに、これまでに植栽した苗木の健全な育成を図る取組を継続的に行っていくこととされており、今後のますますのご活躍に期待したいと思います。



▲ 中学生による植栽

新校舎竣工記念イベント

10/16

体験型の生演奏オーケストラを開催

10月16日（日）、西ノ島小学校・中学校新校舎竣工記念「山陰フィルふれあいコンサート in 西ノ島」を新校舎アリーナで開催し、450人の来場者が生演奏を楽しみ、西ノ島町は音楽一色のまちに変身しました。

山陰フィルハーモニー管弦楽団による演奏は始まりから終わりまで迫力満点で、児童や生徒、鑑賞に来られた方々は、最高の生演奏を楽しんでいました。

新校舎には素晴らしい音と思い出が沁みこみ、また、体験型オーケストラとして、本物の楽器に触れ、生演奏を知った児童・生徒たちには素晴らしい経験となりました。

小学校・中学校のそれぞれの校歌の合唱があり、「国賀どんと節」を幻想曲に編曲演奏し、来場者全員で「ふるさと」を合唱しました。生演奏をバックに歌えるという貴重な体験でした。

そのほか指揮者体験コーナーでは、児童・生徒・来場者から代表3名が指揮台に立ち、自らが振るタクトにあわせて音が出るという素晴らしい体験ができました。

文字通り、音楽により音を楽しみ、西ノ島は音楽によって盛り上がり元気をもらいました。

また、本番前日には、山陰フィルハーモニー管弦楽団と町民による交流会が行われ、西ノ島相撲倶楽部の母親たち、子どもたちの演芸披露等のおもてなしのサプライズに大変喜んでいただきました。



▲ 子ども相撲（前夜祭）



▲ 銭太鼓（前夜祭）



▲ 楽器演奏体験



▲ 指揮者体験



▲ 生演奏をバックに合唱

